

2024年8月29日

東日本支部会員 各位

一般社団法人日本自動車部品工業会
東日本支部

講演会開催のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は支部活動へご支援ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、今年度第5回目の講演会を下記のとおり開催致します。

現在、世界自動車市場でEV販売が鈍化している中、中国メーカーはデジタル技術を活用した「DV（デジタル・ビークル）」の競争を仕掛けてきています。今回は、DV競争の最前線・要素技術、また今後の自動車業界への影響などについて、オートインサイト(株)の鶴原代表にご講演いただきます。

業務ご多忙の中、誠に恐縮に存じますが、会員企業の皆様方にご参加を賜りますようご案内申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時：2024年10月9日（水） 15：00～16：30
2. 形 式：Webセミナー（Zoomのウェビナーを使ったライブ配信セミナー）
3. 演 題：『EVの次の競争軸「デジタル・ビークル」とは何か？』
講 師：オートインサイト株式会社 代表 鶴原 吉郎 様
4. 申込期限：9月30日（月）まで
5. 申込フォーム：<https://www.japia.or.jp/koenkai/241009/>
6. 定員：500名

※10月8日（火）までに受講用URLを送信しますので、
当日URLをクリックし受講下さい。

7. お問い合わせまたは連絡先：

一般社団法人日本自動車部品工業会 東日本支部 坪井
TEL03-3445-4212 メール：tsuboi@japia.or.jp

「講演会」次第

一般社団法人日本自動車部品工業会
東日本支部

1. 講演 (15:00~16:15)

テーマ：『EVの次の競争軸「デジタル・ビークル」とは何か?』

<講演概要>

世界の自動車市場で、EV（電気自動車）販売が鈍化し、HEV（ハイブリッド車）の販売が伸びている。こうした動きを「日本メーカーのチャンス」と見る向きもある。しかし、EVシフトの震源地である中国では、既に新たな動きが起きている。それがDV（デジタル・ビークル）競争である。DVとはデジタル技術をフルに駆使する次世代自動車である。この講演では新たな競争軸としてDVが登場してきた背景、DV競争の最前線、DVを成立させる要素技術、そしてDVが今後どのように自動車業界を変え、人とクルマの関係を変え、社会に変革をもたらすかについて解説していく。

・講師：オートインサイト株式会社 代表 鶴原 吉郎 氏

<講師略歴>

日経BPに入社後、新素材技術誌、機械技術誌を経て、2004年に、日本で初めての自動車エンジニア向け専門誌「日経Automotive Technology」（現在の日経Automotive）の創刊に携わる。2004年6月の同誌創刊と同時に編集長に就任。2013年12月まで9年9カ月にわたって編集長を務める。

2014年3月に日経BP社を退社し、2014年5月に自動車技術・産業に関するコンテンツの編集・制作を専門とするオートインサイト株式会社を設立、代表に就任。日経BP 総研 未来ラボ客員研究員。日本カー・オブ・ザ・イヤー選考委員。主な著書に「自動運転 ライフスタイルから電気自動車まで、すべてを変える破壊的イノベーション」（日経BP、共著）、「自動運転で伸びる業界 消える業界」（マイナビ出版）、「EVと自動運転——クルマをどう変えるか」（岩波新書）、「ポストEVの競争軸 デジタルビークルの知られざる正体」（日経BP）。

日経xTECH、日経ビジネス電子版に「クルマのうんテク」を連載中。

2. 質疑応答 (16:15~16:30)

以上